

## 令和2年度 伊予市事務事業に伴う温室効果ガス排出量

伊予市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、令和3年度から令和7年度の5年間を計画期間とする「第4次伊予市地球温暖化対策実行計画」を策定し、地球温暖化対策の推進を図っています。「実行計画」に基づき事務事業から生じる温室効果ガスの排出量を毎年公表します。

### 【令和2年度】

項目		単位	活動量	温室効果ガス排出量 (単位：t-CO <sub>2</sub> )	割合
燃料 使用 量	ガソリン	ℓ	40,109	93	2.36%
	軽油	ℓ	3,845	10	0.25%
	灯油	ℓ	178,469	444	11.28%
	A重油	ℓ	8,780	24	0.61%
	L P G	m <sup>3</sup>	34,591	207	5.26%
電気		kwh	8,269,302	3,159	80.24%
合計				3,937	100%

### 【基準年との温室効果ガス排出量比較】

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

項目		令和2年度	平成30年度 (基準年度)	対基準年増 減率
燃料 使用 量	ガソリン	93	136	-31.62%
	軽油	10	39	-74.36%
	灯油	444	807	-44.98%
	A重油	24	21	14.29%
	L P G	207	152	36.18%
電気		3,159	5,722	-44.79%
合計		3,937	6,877	-42.75%

◇温室効果ガス排出量が基準年と比べ大幅に減少している要因は、新型コロナウイルス感染症感染拡大による活動量の減少と、電気に係る排出係数が小さくなったことに伴う減少だと考えられる。

◇令和2年度の結果にとらわれず、引き続き、地球温暖化対策の推進を図る。